

事務連絡
平成24年8月8日

管内都県畜産試験研究機関
農林水産省研究推進課・畜産振興課
関東・東海・北陸農政局農産課
(独) 農業生物資源研究所
(独) 家畜改良センター本所・茨城牧場

担当者様

関東東海北陸農業試験研究推進会議
畜産草地部会 事務局

平成24年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
畜産草地部会現地研究会の開催について (ご案内)

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このことについて、開催要領(別添1)及び議事次第(案)(別添2)のとおり、10月1日(月)～2日(火)に静岡県浜松市において開催しますので、ご案内申し上げます。

参加ご希望の方におかれましては、下記のとおりお申し込み下さい。

また、本部会としての案内公文書については、(独) 農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センターから本会議関係研究会等の開催計画に係る公文書を別途送付していることから、送付を省略させていただきます。

記

1 方法

参加申込書(別添3)によりファックスまたはメールでお申し込み下さい。

なお、開催要領等を含め、下記HPにもアップされる予定です。

http://www.naro.affrc.go.jp/narc/kenkyu_koryu/suishin/032316.html

2 締切

平成24年8月31日(金)

3 申込先

FAX: 029-838-8606 または e-mail: nilgs-koryu@naro.affrc.go.jp

4 留意点

参加申込書の脚注をご参照下さい。また、宿泊が必要な方は各自で確保願います。

5 防疫上の留意点

本研究会の2日目(10月2日)は、浜名酪農協TMRセンターや現地圃場見学を行います。これに参加される場合には、原則として本研究会前3日間(9月29日以降)は、畜産農家、と畜場等の訪問は極力避けて下さい。やむを得ず訪問した場合は、着替え、入浴・洗髪、携行品(時計、眼鏡等)の洗浄等の防疫措置を確実に実施した上で参加して下さい。

6 問い合わせ先(事務局)

(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所 企画管理部
業務推進室交流チーム 米本(よねもと)

TEL: 029-838-8249 e-mail: yonemotom@affrc.go.jp

以上

平成24年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
畜産草地部会 現地研究会 開催要領

畜産草地部会長 畜産草地研究所畜産研究支援センター長 澤村 篤

1 趣 旨

国内・地域内畜産物の安定的な生産拡大には、国産飼料基盤に立脚した生産体系の確立およびブランド化等による安定的消費構造の構築が必要である。国産飼料資源としては、水田を活用した飼料用米のほか、低・未利用資源の飼料化が進められている。また、ブランド化や高品質畜産物生産に向けては、飼料用米やエコフィードを活用した高品質の豚肉、鶏肉、鶏卵生産などが各地で開始されている。さらに、競争力を強化するには、食品残渣等のエコフィードを活用した低コスト化が求められる。

そこで、地域特産のエコフィードの活用や飼料用米と地域特産家畜を用いたブランド畜産物生産の取り組みについて最新情報を提供してもらい、現状の課題を整理するとともに今後の展望について論議する。

2 日 時

平成24年10月1日（月）13：30～2日（火）12：30

3 場 所

(1) 1日目

アクトシティ浜松 研修交流センター62会議室

(浜松駅北口より徒歩10分程度 静岡県浜松市中区中央3-9-1)

(2) 2日目

浜名酪農業協同組合TMRセンター（静岡県浜松市西区白洲町867-1、053-487-5399）

とうもろこし生産圃場（耕作放棄地の有効活用）

4 検討事項

テーマ「エコフィードを活用した低コストTMR給与技術」

(1) 1日目

1) 話題提供

①飼料用米を利用した鶏肉生産

代表取締役 青木善明 (㈱青木養鶏場)

②茶粉を利用した地域特産鶏の生産

主任研究員 松井繁幸 (静岡県畜産技術研究所・中小家畜研究センター)

③飼料用米の肉牛への給与技術

主任研究員 樋口幹人 (畜産草地研究所家畜飼養技術研究領域)

④エコフィードを活用した低コストTMR給与技術の検討
上席研究員 小林幸恵 (静岡県畜産技術研究所)

⑤浜名酪農協TMRセンターの概要
代表理事組合長 伊藤光男 (浜名酪農業協同組合)

- 2) 総合討議
- 3) 技術的課題等に関する意見交換

(2) 2日目

1) 現地検討

①浜名酪農業協同組合TMRセンター

②現地圃場見学

12:30頃にJR浜松駅で解散の予定

5 参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政普及部局、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、民間研究機関、大学、(独)農業・食品産業技術総合研究機構、(独)農業生物資源研究所、(独)家畜改良センター、その他部会長が認める者

6 連絡先(事務局)

畜産草地研究所企画管理部業務推進室交流チーム長 米本 正弘

TEL 029-838-8249 FAX 029-838-8606

7 その他

参加・宿泊申込、その他詳細については、別紙の事務連絡をご参照下さい。

平成24年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
畜産草地部会現地研究会
議事次第（案）

平成24年10月1日（月）13:30～17:30
10月2日（火）8:30～12:30

1日目（10月1日）

○場 所：アクトシティ浜松研修交流センター62研修交流室
（静岡県浜松市中区中央3-9-1）

- | | |
|--|-------------|
| 1 開 会 | 13:30～ |
| 2 挨拶（畜産草地研究所） | 13:30～13:40 |
| 3 議事 | 13:40～17:30 |
| 1) 話題提供（各30分程度） | |
| ①飼料用米を利用した鶏肉生産
青木善明（㈱青木養鶏場） | |
| ②茶粉を利用した地域特産鶏の生産
松井繁幸（静岡県畜産技術研究所・中小家畜研究センター） | |
| ③飼料用米の肉牛への給与技術
樋口幹人（(独)農研機構畜産草地研究所家畜飼養技術研究領域） | |
| ④エコフィードを活用した低コストTMR給与技術の検討
小林幸恵（静岡県畜産技術研究所） | |
| ⑤浜名酪農協TMRセンターの概要
伊藤光男（浜名酪農業協同組合） | |
| 休憩 | |
| 2) 総合討議 | |
| 3) 技術的課題等に関する意見交換 | |

2日目（10月2日）

○場 所：浜名酪農業協同組合TMRセンター
浜松市西区白州町867-1

○移動手段：貸切バス
（防疫上、自家用車での参加はご遠慮下さい。）

○行 程：
8:30 浜松駅 発（貸切バス乗り場：浜松駅北口遠鉄百貨店南側）
↓
9:20 浜名酪農協TMRセンター 着

- ・概要説明
- ・質疑応答

10:20 浜名酪農協TMRセンター 発
↓

10:30 とうもろこし生産圃場 着
・概要説明
・質疑応答

11:00 とうもろこし生産圃場 発
↓

12:30 浜松駅 着 解散

以上

(参考)

J R 浜松駅東海道新幹線列車時刻

1. 東京方面

12時			50 (こだま650号)
13時	11 (ひかり466号)	20 (こだま652号)	50 (こだま654号)

2. 新大阪方面

12時		37 (ひかり469号)	56 (こだま649号)
13時	28 (こだま651号)	37 (ひかり471号)	56 (こだま653号)

平成24年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
 畜産草地部会現地研究会
 (平成24年10月1日(月)~2日(火))

参加申込書

申込締切: 平成24年8月31日(金)

申込先: FAX:029-838-8606 または e-mail: nilgs-koryu@naro.affrc.go.jp

機関名	申込者氏名		TEL:		FAX:	
	フリガナ	氏名	検討会 10/1(月)	懇親会 10/1(月)	現地調査 10/2(火)	連絡先(電話、e-mail等)

- ☆ 参加希望者は必要事項及び〇印等を記入し、下記事務局宛にFAXまたはメールでお申し込みください。
- ☆ 懇親会を初日(10/1(月))にアクトシティ浜松内の「サゴー浪漫館」で行います。懇親会費は6,000円の予定です。
なお会場予約の関係上、締切以降の懇親会参加の追加またはキャンセルの連絡については9/3(金)までお願いいたします。
- ☆ 10/2(火)現地視察は貸し切りバスをご用意致しますので、当日の自家用車での参加はご遠慮下さい。
なお、防疫の関係上、現地視察を中止する場合がございます。予めご了承願います。
- ☆ 宿泊は各自で確保願います。

申込先 (独)農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所
 企画管理部業務推進室交流チーム 米本 正弘
 TEL:029-838-8249 FAX: 029-838-8606 e-mail: nilgs-koryu@naro.affrc.go.jp